

未来会議だより

令和 8 年 10 月 1 日発行

発行 栄東地区まちづくり未来会議

(TEL711-2203)

栄東地区まちづくり未来会議

検索



--令和 8 年 9 月 14 日(月)・15 日(火)--

烈々布神社例大祭

地域に響く太鼓と子どもたちの笑顔



9 月 14 日・15 日、烈々布神社の例大祭が開催され、境内や周辺は、地域内外から訪れた多くの人々で賑わいました。祭りを彩るさまざまな催しの中でも、地域の子子どもたちが主役となる「栄中学校太鼓部の演奏」と「町内会子ども神輿」が、祭りを大いに盛り上げました。

14 日、例大祭の舞台上で最初に演奏を披露するのが栄中学校太鼓部です。部員 25 名が力強くバチを振り、30 分余りにわたって 6 曲を演奏。迫力ある太鼓の音が境内いっばいに響き渡り、集まった多くの聴衆を魅了しました。栄中学校太鼓部は 1977 年に創立された伝統あるクラブで、市内の中学校では唯一の太鼓部です。中体連などの大会はありませんが、地域のさまざまなイベントで演奏を披露し、住民に元気を届けています。烈々布神社例大祭は、日頃の練習の成果を地域の皆さんに披露する大切な機会となっています。



15 日には、栄中央第一町内会を中心とした子ども神輿も行われました。一時は参加する子どもが少なく、存続が危ぶまれた時期もありましたが、現在では近隣の元園町内会も加わり、70 人を超える子ども

たちが参加。子どもたちのつながりから参加を希望する他町内会も増え、申し込みを断らざるを得ないほどの盛況となっています。

午後 4 時、小学校の授業を終えた子どもたちが出発。先頭を、きらびやかな伝統衣装を身にまとったお稚児さんが



▲掛け声と共に神輿を引く子どもたち歩き、その後に太鼓を載せたりヤカー、そして京都の宮大工が手掛けたという金箔の立派な神輿が続きます。「ワッショイ、ワッショイ」という元気な掛け声と祭囃子が響きました。行列には町内会役員や保護者も付き添い、子どもたちの安全を見守りながら約 1 時間にわたって地域を巡りました。地域の大人たちの温かな眼差しに支えられた子ども神輿は、子どもたちにとって、ふるさと栄東の大切な思い出になったことでしょう。

また、14 日の宵宮祭では、栄東地区青少年育成委員と札幌東警察署少年補導員が境内や周辺を巡視しました。多くの人が集まる例大祭で、子どもたちが安心して祭りを楽しめるよう、夜遅くに小さな子どもだけで来ていないか、露店の間を歩く際に人や物に注意するよう声を掛けるなど、温かく見守りました。



▲青少年育成委員の皆さん



▲少年補導員の皆さん

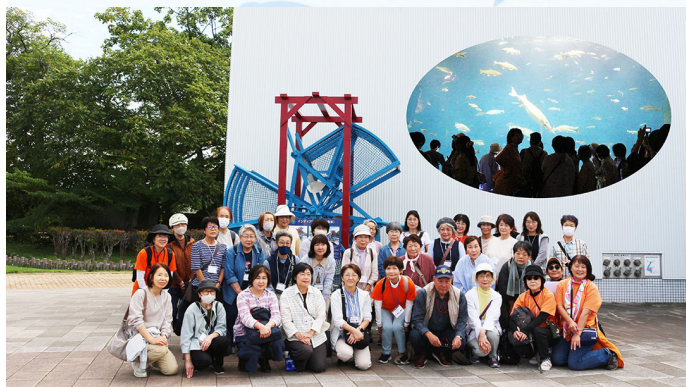
地域に響き渡る太鼓の音、元気な「ワッショイ」の掛け声、そして子どもたちの笑顔。烈々布神社例大祭は、地域の伝統が世代を超えて受け継がれていることを感じさせる、にぎやかで温かな 2 日間となりました。

▼大人に見守られながら道路の安全を確保して横断



--令和 8 年 9 月 10 日(木)--

サケのふるさとで情報交換の輪 女性部研修会



この日、栄東連合町内会女性部の研修会が開催されました。今回は、サケのふるさと千歳水族館と、秋の収穫期に賑わう「くるるの杜」を訪ねました。この研修は、栄東地区の町内会活動の中核を担う女性部のみなさんが、見聞を広め、活動の情報交換を行うとともに、地域の絆を深め、今後の円滑な地域連携を進めようと開かれたものです。

参加された 37 名は、まず、サケが遡上する時期の千歳水族館を訪ねました。同館は、北海道内で最大の淡水魚の水槽を有する水族館で、サケなどの生態を観察することができます。また、千歳川の水中を直接見ることができ、産卵に向かうサケの自然の姿は必見です。参加者



のみなさんは、巨大な水槽を見上げながら、サケの仲間が稚魚から幼魚、そして成魚へと成長する姿をつぶさに観察していました。

2 か所目の訪問地は、ホクレンの「くるるの杜」です。収穫されたばかりの野菜や果物、畜産品などが並ぶ農畜産物直売所では、おいしそうなこだわりの品々に、みなさん目を輝かせながら見て回っていました。

昼食は、新鮮な野菜やこだわりのお肉などを使った、素朴で温かい約 70 種類の家庭料理やデザート、ドリンクをビュッフェスタイルで楽しみました。美味しい料理を味わいながら、参加者のみなさんの情報交換も活発に行われていました。

さまざまな活動をとにもすることで地域の絆が深まり、今後の地域課題の解決や、円滑な地域連携にも大いに役立つことでしょう。



▲世界の淡水魚に興味津々



▲サケの遡上が見える千歳川



▲お持ちかねのランチタイム



▲種類豊富な野菜が並ぶ直売所

--令和 8 年 8 月 24 日(月)--

地域安全の要



栄東交番と連絡協議会

この日、日の丸会館で令和 8 年度栄東交番連絡協議会が開催されました。同協議会は、栄東交番と地域住民が協力し、地域の安全について情報共有や話し合いを行うものです。

地域から 7 名の委員が出席し、同交番の吉本係長から管内の交通事故や犯罪の状況について説明を受けました。人身交通事故は、1 月から半年間で前年比 14 件増の 35 件。犯罪も 7 月末までに前年比 18 件増の 121 件となり、特に万引きなどの非侵入盗が 23 件増の 56 件と目立っています。

また、特殊詐欺についても被害が後を絶たず、警察官を名乗る詐欺などが頻発しています。吉本係長からは、警察が SNS やビデオ通話で連絡したり、警察手帳や逮捕状を画像で送ったり、捜査のために金銭を要求したりすることはないとの説明があり、「一つでも該当すれば詐欺なので注意してほしい」と呼びかけがありました。

最後には、委員から日頃気になっていることについて質問があり、親身な回答をいただきました。地域の安全を守る身近な存在である栄東交番。日々活動されている皆さんに、改めてお礼申し上げます。

